

## 秋田市産イチゴが初出荷

秋田市豊岩の(農)白華の郷が令和2年度から栽培を始めたイチゴが、初出荷を迎えました。秋田市でのイチゴの大規模施設栽培は初です。

武藤真作代表理事らが12月24日(木)に穂積志秋田市長を訪れ、初収穫の「紅ほっぺ」と「おいCベリー」を手渡しました。イチゴを試食した穂積市長は「大きくて食べ応えがあり、とても甘くておいしい」と笑顔を見せました。

同法人ではハウス3棟で「紅ほっぺ」「とちおとめ」「おいCベリー」「やよいひめ」を栽培しており、5月頃まで出荷が続く予定です。イチゴは直売所「いぶきの里」「あぐりんないち」で販売しています。

## 直売所で年始セール

1月5日(火)、当JAの直売所「いぶきの里」「あぐりんないち」で令和3年の初売りが行われました。地元産の野菜や果物、肉などを特価で販売する年始セールが開かれ、多くの来店者で賑わいました。

「イチゴの日」にあたる当日はイチゴが店頭を彩ったほか、7日(木)を間近に控え、七草の詰め合わせなども並びました。

店内では初売り限定で抽選会が行われ、新年の運だめしに挑む姿が見られたほか、JA葬祭レールの相談コーナーなども設けられました。

今年も季節に合わせた豊富な品揃えで、皆様のご来店をお待ちしています。



抽選会で運だめしに挑む来店者



初出荷のイチゴを穂積市長に手渡す武藤代表(右から2人目)

## NEWS & TOPICS

## 新成人お祝い式

1月8日(金)、新成人お祝い式がJA秋田なまはげ会館で行われ、役員約10人が新成人となった職員を祝い激励しました。

今年成人を迎えた職員は、秋田県農協ビル支店の三澤真綺職員と雄和グリーンセンターの堀井柊職員の2人です。吉田文勝副組合長は「どんな仕事を覚え、組合員との会話を通して気持ちを汲み取ることが大切。わからないことや迷うことも多いと思うが、周囲に相談しながら積極的に物事に取り組んでいってほしい」と呼び掛けました。新成人の2人は吉田副組合長から記念品を受け取り、今後の人生への決意を新たにしました。



成人を迎えた職員

## 蔵開きで五穀豊穡を願う

1月8日(金)、太平低温倉庫で蔵開きが行われました。役員10人が参加し、令和3年が豊作の年になるよう祈願しました。

参加した役員は倉庫内に設けられた神棚の前で手を合わせ、農産物の豊作や消費者への安定した供給、農作業時の安全を願いました。

吉田文勝副組合長は「今年も厳しい情勢が続いているが、高値がついて生産者が喜ぶ年になってほしい。営農指導が功を成し、大豊作となるよう願っている」と話しました。

当JAは今年も安全に気を付けながら、生産者の皆様とともに農産物の安定生産に努めていきます。



倉庫で豊作を願う役員

